

建築士や施工管理技士の有資格者を職員として雇う考えは



柴田 正高 議員



質問 統合子ども園・滝の間コミセン・樺台コミセンのトラブルは、担当職員の知識不足のために起こった事だと考える。建築の有資格者を技術職員もしくは、嘱託職員として採用するべきではないか。

答弁 町には建築士や施工管理技士などの資格を有する職員はいないが、設計依頼時や工事発注後に町や設計者・施工業者で協議している。今回のトラブルについては、打ち合わせ等が十分でなかったと思うが、必ずしも職員の知識不足に

よるものとは考えていない。当面は専門の有資格職員や嘱託を配置せず、現行のまま業者に委託したい。

再質問 町では退職職員補充として、毎年1名から2名の一般職員を採用している。これを1名建築士や施工管理技術者を採用してはどうか。

答弁 専門職を採用した場合、他の部署への配置転換が限定される。職員の定数が減らされて、誰でもすべての部署で仕事が出来るとはならない。今の段階で支障をきたしているわけではないので、当面は現行のままを進めたい。

質問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第27条で、「教育委員会には、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これらを議会に提出するとともに公表しなければならない。」と定められている。しかし、今まで一度も議会に報告をされたことがないのはなぜか。

また、12月定例会において、委員会開催日をお知らせ版に記載するように申し入れたが、その後記載がないのはなぜか。

答弁(教育長) 議会への報告については、平成23年度9月議会決算委員会の最終日に教育次長が「点検報告書」の内容に基づいて口頭で説明して

いる。24年度分以降については決算委員会の説明をやめて、公文書で議会議長に提出し現在に至っている。

委員会開催日のお知らせ版への記載については、文字数が限られており、毎月掲載してもらいたいとの要望は、それほど強くはないとの判断によるものである。

委員会はその時の事情により、予定日に変更になることがあるが、行事予定欄に予定として掲載し、日程が変更になっていないか事務局に確認してもらおうという事に対応したい。



回答 ジオパーク推進協議会の体制を見直し、会長を非常勤に、現会長を顧問兼専門員の立場で研究を進めてもらう。

ジオパークは全国的に見ても過渡期であり、国の支援の動きも出ており、もう少し時間をかけて検討したい。今後はジオパークとぶなつこランドが一体となって白神を舞台にした地域振興を進めていきたい。

質問 八峰町農林水産物加工施設と白神自然食品株について、経営努力は認めるが、改善策の効果が見られない。勇気をもってやめる決断も必要では。

回答 指定管理期間のH28年3月までは、管理委託料をお願いしたい。今後の経営状況を見ながら、次回の指定管理の際には結論を出したいと考える。



教育産業建設分科会の様子

その他の意見：プレミアム商品券について

●これまで、ホームセンターや、ガソリンスタンド等の利用が全体の6割と聞いている。これに新たな参入を認めればますます個人商店などは落ち込むのでは。

●この事業の本来の目的は、消費者支援か、それとも商業・事業者支援か、消費者には恩恵があるが、商店にはプラスにならない面もあるのでは。

平成27年度予算審査

平成27年一般会計及び特別会計の歳入歳出予算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、3月20日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。

その付帯意見を紹介します。

なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。

意見1

地方創生予算をどう反映させるか

人口減少対策としての各種の事業が盛り込まれているが、八峰町独自の事業を打ち出すべきである。

意見2

子ども園の周知の徹底

新年度予算では、半額・無料化が図られている。地域の保護者にもっと周知・徹底するべきである。建物等外観も子ども園らしくするべきである。

意見3

ハタハタ館について

町の観光の拠点である。

現在の源泉の湧出管が寿命にきていることから、早急に対応することが喫緊の課題となっており、新たなボーリング調査をする必要がある。

意見4

第三セクターについて

ハタハタ館、峰浜培養の運営については、それぞれ、会社であり民間感覚で安定的な経営を目指すことは当然であり、安易に出資や損失補償をするのではなく、緊張感を持って経営に当たるよう指導すべきである。